新たな地域戦略施策の取り組み状況

【情報提供3】

地域振興部

令和3年度　域外民間企業等との連携施策

市政運営において、民間感覚を取り入れた柔軟な発想により、新たな施策展開を積極的に推進するため、民間企業との包括連携協定や総務省の制度を活用し、民間企業から職員の受入を実施。

未利用資源の活用による商品開発

留萌管内でホタテ種苗生産時に発生する余剰稚貝を活用し、ポッカサッポロフード&ビバレッジ㈱と連携しながら、既存の水産加工業や水産業の振興を拡充する新たな経済活性化策、地域振興策を展開。

【未利用資源を活用したｶｯﾌﾟｽｰﾌﾟの商品化】

2023年秋に「北海道留萌産ホタテ稚貝のフリーズドライ入りのカップスープ（クラムチャウダー等）」の商品化に向けて、市内加工事業者の協力を得ながら、製造処理工程等の実験を実施予定。

アウトドアを中心とした地域振興

高規格幹線道路深川・留萌自動車道の全線開通や「道の駅るもい」の開業を契機とした新たな観光誘客に向けて、アウトドアを中心とした地域振興を目指す。

【新たな観光グランドデザインの策定】

地元観光関係者とともに、新たな観光グランドデザインの策定に向けて、モンベルが手掛けてきたアウトドアに関する様々な活動や知見を活かし、留萌地域における地域資源調査や、「道の駅るもい」を拠点とした具体的な連携方策の提案、さらには、留萌管内も含めたアウトドア周遊ルート構築に向けた調査研究を官民連携により実施。

包括連携協定調定式の様子（R3.3.25）
左からモンベル辰野会長、中西市長

新たな地域戦略施策の取り組み状況

【情報提供3】

地域振興部

令和3年度　域外民間企業等との連携施策

卓球を核としたまちづくり

VICTAS

令和３年４月１日より優秀な指導者人材を招聘し、子どもたちの夢実現のサポートやスポーツによる健康増進等を推進。

【スポーツを通じた子ども達の夢の実現に向けた取り組み】

子どもたちの夢実現を後押しするため、優秀な指導者人材による技術指導の他、ふるさと納税を活用し、練習環境の整備やけが予防を含めた体づくりの普及啓発等を実施。

観光、ふるさと納税の推進

JAL

ＪＡＬの発信力を活用し、交流人口の拡大やふるさと納税返礼品の新規商品開発等による寄附額の拡充など、新たな観光戦略による観光誘客を推進。

１．ＪＡＬふるさと納税

ＪＡＬマイレージ会員の優良顧客を対象に、厳選された返礼品を取りそろえ、魅力発信と寄付額の増かを図りながら、継続的な関係構築による誘客を図る。

２．地域産品を使用した商品開発と販売

ＪＡＬ国際線ファーストクラスの機内食を手掛けているシェフ監修のもと、「塩かずの子」をはじめ、地元料理人と意見交換を行いながら、新メニュー開発等を実施し、新しい留萌の味を発信。

新たな地域戦略施策の取り組み状況

【情報提供3】

地域振興部

令和3年度　域外民間企業等との連携施策

教育を基軸とした地域振興　河合塾

河合塾の技術と人的資産を活用し、留萌の子どもたちの学力支援、キャリア支援など「高いレベルの学び」を戦略的に実施するなど教育を基軸と地域振興を促進する。

【地元高校へＩＣＴ機器等を整備補助】

地元唯一の高校である留萌高校へ「１人１台端末」の実現に向け、令和３年度中に導入するタブレットを補助するほか、河合塾が提供するＡＩ（人工知能）搭載したＩＣＴ活用教材を活用し、生徒の学習効率の大幅な向上と教員負担軽減を実現。

今後留萌高校だけではなく、市内小中学校へも展開するほか、キャリア教育プログラムを推進し、未来の留萌市を担う人材を育成。

包括連携協定調定式の様子（R3.10.8）
左から河合塾真嶋理事、中西市長

スポーツを核としたまちづくり　HOKKAIDO Consadole SAPPORO

市民に夢と健康を届けるため、コンサドーレのマネジメントを活用して、スポーツと経済活動や教育支援などを連動させ、地域の活性化を図る。

【主な連携事項】

1．総合型地域スポーツクラブの運営
2．スポーツ振興と健康増進
3．社会福祉に係る協力
4．教育に係る協力
5．安心・安全なまちづくり
6．市内産業・観光の発展

包括連携協定に向け、三上ＧＭが表敬訪問（R3.10.1）
左から中西市長、㈱コンサドーレ三上ＧＭ